

# エコ・エコ (ecology. economy)

特定非営利活動法人 エコ・エコ (自然の保護と理解の輪を広げる活動を行なっています)

## マルコとカエル

鈴木孝雄

マルコはトラスト1号地と共に見沼の原形を保全しようとしていますから、カエルの保護区になることも目指しています。

2011年から活動をはじめ、いくつかのことが経験的に分かってきました。環境作りとはいいいながら、産卵しやすいのは…、孵化しない卵塊も…、オタマジャクシが快適に育つには…、親ガエルが安心して過ごせるのは…、などそれぞれが少しずつ異なります。

ニホンアカガエルは2月から3月にかけて産卵、6月に体長1センチほどのちびっ子カエルとして上陸します。産卵場所の水深が足りないと卵塊も凍り付いてしまいます。日当たりの良いところがオタマジャクシになっても育ちが良く、想像以上に移動範囲が広いので驚きます。

過密や餌不足も心配です。また、最近の4月5月は真夏のような気温になることがしばしばありますし、埼玉県南部は菜種梅雨がなくなったと思うほど晴天が続きます。水涸れが最大の問題ですし、水温が上がりすぎると死んでしまいます。たまに雨が降ると大雨の土砂降りです。オタマジャクシは水路からあふれる流れに乗ります。気がつかないところで干上がってたりします。

ようやくカエルになっても天敵がたくさんいます。カエルが増えるとヘビも増えるという因果は想像できますし、モズやアオサギといった鳥類などです。ですが、藪や草があれば全滅するほど食べられてしまうことはないでしょう。しかし、新しい天敵としてアライグマやハクビシンが登場しています。推測ですが、これらからも逃れられる環境が必要になってきているようです。

2013年、孵化から成体への具体的な保護活動をスタート、2017年には産卵したニホンアカガエルの卵塊は26個にまで増えました。単純に雄雌の親ガエル計52匹になります。それほど単純ではないでしょうが、カエルの楽園が見えてきたような気分でした。卵塊1個に、大きさにもよりますが700～1200匹分の卵が集まっています。その中で順調に孵化して育つのは1匹か2匹だそうですが、それでもカエルがたくさんいる場所になります。

しかし、この年をピークにいろいろ手は打ったつもりですが年々減ってしまい、残念ながら2022年には一つも生まれませんでした。親ガエルが全滅してしまったのでしょうか？

もちろんこれで諦めるわけにはいきません。これからも水路整備はじめ、オタマジャクシ、成体それぞれの環境を想定し、これまでの経験値に基づく保護活動に力を注いでまいります。



卵塊 2013/03/27



上陸直前のアカガエル 2013/06/02



アオサギ 2020/12/25



アライグマ 2019/01/31



ハクビシン 2019/03/31



アカガエル成体 2013

# 今後の予定 2022 年度前期

半年ごとのカレンダーでエコ・エコの行事をお知らせします。 **要申し込み**

## 環境保全活動

4~5月 9時開始  
6~9月 8時半開始

集合場所 トラスト1号地  
あずまや  
2時間程度の活動

道具等はこちらで準備  
帽子、長袖、長ズボン  
汚れても良い服装で

## 観察会星山.com

実施する場合は  
2週間前にホーム  
ページで告知します



ホームページ  
<http://eco-minuma.com/>

## YOUTUBE チャンネル登録のお願い



チャンネル登録で  
エコ・エコの活動  
を支援してください

**自然は** nature is my  
best friend  
we can be happy  
If all people understand  
nature on the earth **ともだち**

10年振り返り動画

2022 4 April						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30



コゲラ

2022 5 May						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



メジロ

2022 6 June						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



オナガ

2022 7						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30



ヤマガラ

2022 8 August						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



エナガ

2022 9 September						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	



スズメ

保全作業日

他の作業日  (畑もしくはトラストで活動しています)

NPO 法人エコ・エコは生物多様性の保たれる空間が広がることを活動の目的にしています。

活動を御支援ください NPO 法人 エコ・エコ

寄付送金先 エコ・エコ 郵便振替 0110-0-711005

問い合わせ先 メール kaerunomaru@gmail.com

Tel&Fax 048-874-9811 (加倉井)

<http://eco-minuma.com/> エコ・エコで検索